

雪の音で

Vol. 139

令和2年6月15日発行



巻頭言	石川県における最近の土木情勢	石川県土木部長 城ヶ崎正人	1
特集	胎内川総合開発事業 奥胎内ダム の運用開始について	新潟県新発田地域振興局地域整備部	2
寄稿文	まちのいいい! 町家改修、空き家活用、おくりいえ。家を町にちよっぴり開く、小さなお話。	あとりいえ。 やまだのりこ	6
ちょっと気になる コーナー	新型コロナウイルスの感染拡大! こんな時だからエアー観光	(株)新潟トラベル 常務取締役 山崎康裕	10
お知らせ	BIM/CIM講習会 「橋梁設計における3次元設計への取り組み」	技術部会 橋梁委員会	12
お知らせ	令和元年度 「独占禁止法等遵守に関する講習会」報告	倫理・法令委員会	14
お知らせ	令和2年度(第38回) 北陸支部定時総会	総務部会	16
	会員名簿 各部会・委員会委員名簿	事務局	17
	編集後記	藤井和行	

[題字]

元北陸地方建設局長
廣瀬利雄 揮毫

[表紙・裏表紙写真]

タイトル わがふるさと 東公園ぼたん園
撮影地 新潟県五泉市太田地内
撮影者 猪俣孝之

巻 頭 言

石川県における最近の土木情勢

石川県土木部長

城ヶ崎 正人



北陸新幹線金沢開業から、6年目を迎えました。開業以来、金沢市をはじめ県内各地に国内外から多くの観光客が訪れておりましたが、現在は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、観光客が激減するなど、戦後最大ともいえるべき経済危機を目の当たりにしております。

こうした中、本県では、感染症が収束した後の力強い回復を支えるためにも、本年度予算の適宜適切な執行に努めるとともに、1年延期となった東京オリンピック・パラリンピックや令和5年春の県内全線開業を見据え、広域交流基盤の整備を積極的に進めていくこととしています。

まず、道路網については、本県の広域幹線道路整備の基本方針である「ダブルラダー輝きの美知」構想に基づき、のと里山海道や金沢外環状道路海側幹線、加賀海浜産業道路をはじめとした幹線道路網の整備を進めており、4月12日に、のと里山海道において、最長のゆずりレーンを完成させるとともに、国道415号の羽咋バイパスでトンネル工事に着手したところであります。

また、金沢港については、金沢港クルーズターミナルを完成させるなど、これまで進めてきた貨物と旅客の両面での機能強化整備が完了し、開港50周年を迎える本年から、金沢港は、貨物の拠点とクルーズ拠点に加え、賑わいの拠点として新たな歴史がスタートします。

さらに、本県の歴史・文化のシンボルである「金沢城公園」では、鼠多門・鼠多門橋の復元整備を本

年7月には完成させるよう進めております。これらの門と橋の完成により、長町武家屋敷から尾山神社を経て、金沢城、兼六園、本多の森公園に至る「加賀百万石回遊ルート」が形成され、これにより、江戸・明治・大正期を代表する建造物や、江戸期の庭園などが面的につなぎ合わされ、本県の歴史と文化の魅力が一層高まるものと考えております。

こうした取り組みに加え、県民生活の安全・安心を確保するための対策も着実に推進することとしております。

近年、全国各地において記録的な豪雨による大規模な浸水被害が多発していることから、国の3か年緊急対策も活用し、抜本的な河川改修や即効性のある堆積土砂の除去、要配慮者利用施設周辺での土砂災害対策などを重点的に進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症については、今後も持続的な対策が必要になると見込まれる中、公共工事は社会の安定を維持する観点から緊急事態措置の期間中においても、事業継続が求められております。また、建設コンサルタンツ協会の会員の皆様方におかれましては、接触機会を低減するため、在宅勤務の推進など、感染拡大防止策を行っていただいております。今後も事業の継続にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

最後になりましたが、今後とも、一層の技術の研鑽を図り、本県の発展へご尽力いただくことをご期待するとともに、貴協会の益々のご発展を祈念申し上げます。

胎内川総合開発事業 奥胎内ダムの運用開始について

新潟県新発田地域振興局地域整備部

1. はじめに

新潟県胎内市下荒沢地内の二級河川胎内川で建設を進めてきた奥胎内ダムは平成31年4月1日に運用を開始しました。

ダムの建設地は磐梯朝日国立公園第一種特別地域に位置し、環境省指定の貴重猛禽類など絶滅危惧種をはじめとする多くの動植物が生息する自然豊かな地域です。

このため、ダムの建設による自然環境への直接的・間接的な影響を最小限とするよう、各種の環境保全対策を講じながら工事を進めてきました。

2. 胎内川の治水対策

新潟県の北東部を流下する胎内川は、その源を藤十郎山（標高1,332m）に発し、途中で頼母木川や鹿ノ俣川などの支川を合流して日本海に注ぐ、流域面積143.4km²、流路延長39.1kmの二級河川です。

胎内川水系の治水事業は、荒川へ流入していた胎内川を直接日本海に放流するための約1.0kmの分水路工事を明治21年に開始したことに始まり、昭和24年からは本格的な河川改修事業に着手しました。

その後、昭和41年7月に「下越水害」、翌42年8月には下越一帯に死者96人、全半壊・浸水家屋約6万戸の甚

大な被害をもたらした「羽越水害」が発生したため、この2年連続の大災害を契機に胎内川ダムの建設を開始し、昭和51年度に完成しました。

しかし、その後も幾度となく洪水被害が発生したほか、下流域における開発が進んだことなどから治水計画を再検討し、さらなる治水安全度の向上を目的として、奥胎内ダムが計画されました。

3. 奥胎内ダムの概要

奥胎内ダムは、胎内川総合開発事業の一環として建設した多目的ダムで、下流の既設胎内川ダムと連係して容量を振り替えることにより、洪水調節や上水道の供給等を目的としています。

（1）ダムの諸元

形式	重力式コンクリートダム
堤高	82.0m（標高415.0m）
堤頂長	198.9m
堤体積	26万m ³

（2）貯水池の諸元

集水面積	32.4km ²
湛水面積	0.48km ²
総貯水容量	1,000万m ³
有効貯水容量	770万m ³

（3）ダムの目的

- ・既設胎内川ダムと合わせて870m³/秒の洪水調節を行い、流域の洪水被害を防止します。
- ・既設胎内川ダムとの相互運用により、流水の正常な機能の維持を図ります。
- ・既設胎内川ダムとの相互運用により、胎内リゾートに1,500m³/日の水道水を供給します。
- ・ダムの地下に胎内第四発電所を建設し、最大出力2,600kwの発電を行います。

4. 胎内川総合開発事業

胎内川総合開発事業は、奥胎内ダムの建設と併せて既設の胎内川ダムの改造を行い、貯水池容量配分図（図2）

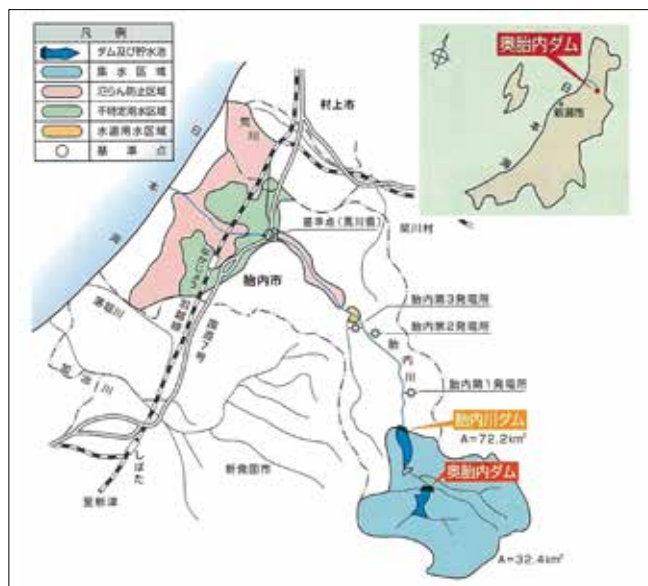


図1 胎内川流域一覽図

に示すとおり、奥胎内ダムの新規利水容量（1,300千 m^3 ）と既設の胎内川ダムの洪水調節容量とを振り替えることにより、両ダムが連係して最適なダムの編成を行うことを目的としています。

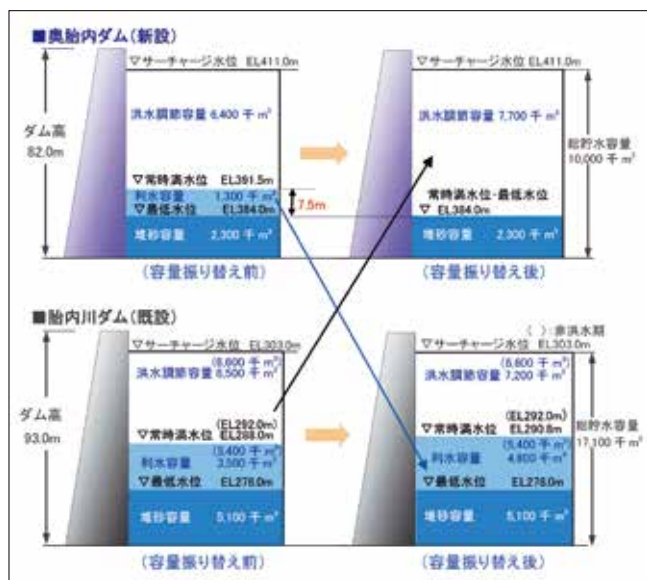


図2 貯水池容量配分図

5. 奥胎内ダムの環境保全対策

磐梯朝日国立公園第一種特別地域に計画された奥胎内ダムの最大の特徴は、計画段階と施工段階において多種多様な環境保全対策を講じたことです。

以下、主な環境保全対策を紹介します。

（1）計画段階での対策

- ・奥胎内ダムの新規利水容量を胎内川ダムに受け持たせることでダム湖を縮小し、また、仮設備の位置を工夫して国立公園の開発面積を縮小。
- ・堤体掘削で発生する岩石をダム本体のコンクリート骨材に利用することで、原石山を廃止。
- ・奥胎内ダムから胎内川ダムまでの約8キロ区間は環境保全のために電線類を地中化。
- ・建設副産物のリサイクルを徹底し、骨材や植栽基盤材として現場内で再利用。
- ・右岸の堤体端部にコンクリート躯体による人工岩盤（造成アバットメント）を設置し、地山の掘削土量と法面保護面積を大幅に削減。

（2）施工段階での対策

- ・建設機械・仮設備の色彩は猛禽類を刺激しにくく景観に配慮したものとし、また、低騒音・低排出ガスの機械を採用。
- ・工事で発生する濁水を処理し、工事用水として循環利用。

- ・伐採木はチップ化して緑化基盤材に再利用。
- ・夜間照明は動植物への影響を考慮し、高圧ナトリウムランプを使用し照射範囲も限定。

このほか、自然環境への影響を調べるため定期的にモニタリング調査を実施し、学識者から指導を受けながら環境保全対策を策定・実施したほか、事業関係者で協議会を組織し、環境保全対策が確実に実施されていることの定期的な確認や、毎年の工事開始前に環境学習会を開催し、工事関係者全員による環境保全の重要性や具体的な注意事項を確認するなど、工事関係者が一丸となって環境保全対策に取り組みました。

6. 建設工事の概要

以下、施工順にダムの建設工事を紹介します。

（1）工事用道路

工事用道路は、平成2年度に5.9kmの整備を開始しました。このうち、3号土捨場から奥胎内ヒュッテまでの県道3.0kmと、奥胎内ヒュッテから奥胎内大橋東詰までの市道1.7kmは既存道路を拡幅し、奥胎内大橋東詰からダム建設地までのダム専用道路は奥胎内大橋や奥胎内トンネル、仮設橋を含む河床進入路、管理用道路に使用するダム天端取付道路を整備しました。



奥胎内大橋と奥胎内トンネル

（2）転流工

転流工は、初めに河床進入路の延伸途中に立坑を施工し、ダムサイトを迂回して河流を処理するための仮排水トンネルを施工しました。仮排水トンネルは立坑地点より下流に向けて施工し、最後に立坑から上流側と呑口部を施工して転流を開始しました。

次に、仮排水トンネルに転流したのち、本体掘削材の積込・搬出を行うため、河道を埋め戻して河床部まで取

り付く河床進入路を造成しました。



仮排水トンネル呑口部

(3) 基礎掘削工

河床進入路の造成とともに、右岸ダム天端取付道路を利用して、平成17年度に右岸ダム天端以上法面から基礎掘削を開始しました。

右岸ダム天端以上の長大法面では、グラウンドアンカー工と法枠工を並行しながら施工したほか、本体掘削によってダムサイトから発生した材料は、緩みゾーンを含む本ダムサイトの岩盤性状を考慮して堤体コンクリート骨材として有効利用しました。



右岸堤敷掘削状況

本体掘削材料は3号土捨場に仮置きしたのち、県道を挟んで設置した骨材プラントに投入し、Gmax150～80mm、80～40mm、40～20mm、20～5mmの粗骨材及び細骨材を製造し、これらをダムサイトの骨材貯蔵設備に運搬・仮置きしたのち、コンクリート製造設備に供給しました。

また、下流の胎内第一ダムの貯水池に堆積し毎年掘削される土砂全量を3号土捨場に仮置きし、堤体コンクリート骨材としての適性を確認したうえで、コンクリート骨材に有効利用しました。



本体掘削完了(下流上空より)

(4) 基礎処理工

平成11年度に原位置でのグラウト試験を実施し、その結果を受けて「グラウチング技術指針・同解説」(S58.11)に基づき、カーテングラウチング、コンソリデーショングラウチングの施工範囲、施工仕様等を設定しました。

また、本体工事発注後に「グラウチング技術指針・同解説」(H15.7)の改訂を受け、カーテングラウチング、コンソリデーショングラウチング、及びグラウトトンネルについて設計変更しました。この計画に従って施工管理を適正に行い、所定の基礎処理改良効果を得ることができました。

(5) 堤体コンクリート工

堤体コンクリートの示方配合は、配合試験、実機試験を経て、掘削材、河床材に分けて設定しました。

ダムサイトは積雪のため冬期休工期間(12月中旬～翌5月中旬)があり、各年の積雪状況が稼働期間に影響し、また、春先の貴重猛禽類の生態などによっても、工事の進捗や施工に影響が生じました。

堤体コンクリート打設は、河床部まで基礎掘削が終了したのち、平成22年度から開始しました。

翌年度からは、主打設備である13.5t吊りタワークレーンをダムサイトに設置し、コンクリート打設が本格化しました。

なお、ダム堤体の右岸端部に設けた造成アバットメントは、右岸ダム天端以上の掘削が完了した平成19年度に、本体コンクリート打設に先行して生コンで施工しました。

ダム堤体下流側に工事用道路を持たない本ダムサイト

の特殊性から、下流減勢工及び地下に新設する胎内第四発電所の施工は、工事用道路として拡幅した堤内仮排水路を利用して資機材を運搬しました。



堤体コンクリート打設

（６）閉塞工

平成28年度に26万㎡の堤体コンクリート打設を完了したのち、ダムサイトの仮設備、河床進入路（旧河道区間）を撤去するとともに、仮排水トンネルを閉塞して堤内仮排水路に2次転流を開始しました。

堤内仮排水路は本体工事最盛期に堤体下流へのアクセス路として利用していたため、試験湛水開始後の閉塞作業の省力化、効率化を目的として一部の断面を縮小し、試験湛水に備えました。

7. 試験湛水

試験湛水期間中は、堤体及び貯水池周りの巡視や、漏水量及び揚圧力等の計測・監視を行いました。

総漏水量はサーチャージ水位時において全量25リットル／分程度であり、堤体の下流方向への変位量は、サーチャージ水位時で最大6mm程度でした。



サーチャージ水位到達時

【試験湛水の経緯】

・試験湛水開始	平成30年9月25日
・常時満水位到達	平成30年10月2日
・サーチャージ水位到達	平成30年10月31日
・水位降下開始	平成30年11月2日
・常時満水位に降下	平成31年1月15日

8. 竣工式典

10月25日には、佐々木国土交通大臣政務官、花角新潟県知事、井畑胎内市長をはじめとする関係者約130人が出席して、竣工式典を開催しました。

式典では、知事及び市長の挨拶に続き、佐々木政務官や本県選出国会議員の皆様からご祝辞をいただきましたが、いずれも10月の台風19号による全国各地の甚大な被害や、近年激甚化・頻発化する自然災害に対して強力な防災・減災対策が課題であることに言及されるとともに、奥胎内ダムの完成による胎内地域の治水安全度の向上に期待のお言葉をいただきました。



奥胎内ダム竣工式典

9. おわりに

前述のとおり、奥胎内ダムは磐梯朝日国立公園第一種特別地域に位置するため、自然環境保護のための制約が多く、また、積雪により半年間の休工を強いられるなど、厳しい施工条件下にありました。

このような状況のもと、この度の運用開始を迎えたことは、これまで多くの皆様からいただいたご支援及びご協力の賜物と感謝しております。

当ダムの建設事業に長きに亘りご支援及びご協力をいただきました関係者の皆様に、心より厚く御礼を申し上げます。

まちのいえい！

町家改修、空き家活用、おくりいえ。家を町にちょっぴり開く、小さなお話。

あとりいえ。 やまだのりこ

1. はじめに

石川県金沢市で建築やっております。生まれは同県加賀市大聖寺、十万石の静かな城下町です。大正時代の町家で育ちましたが、暗く、プライバシーがない、思春期の私には住みにくい印象しかありませんでした。(ちなみに冬寒いのは当たり前だと思ってました、笑)

それが、大学の授業で実家にそっくりな間取りが出てきたことから、町家と呼ばれることを知ります。とはいえ、時は新築全盛。私も新築への興味が強く、卒業後は金沢市内の設計事務所に勤務しましたが、新築が10割でした。

福祉施設や保育園といった公共物件から住宅まで、幅広く関わらせてもらう中で時は過ぎ、10年が経った頃、改修案件が増え始めます。個人的にも、町家改修の依頼が来るようになりました。それが『あとりいえ。』設立のきっかけです。そこから、今につながる様々なことが動き始めます。まずは、金沢発! いえをおくる「おくりいえ」のお話からどうぞ。

2. おくりいえ

始まりは2009年。金沢に残る町家は約6,000件、内270件/年(現在は約100件/年に減少)が姿を消していると耳にしたところからです。

建築家の先輩の隣の町家が数日後に取り壊されると聞き、建築に携わる方々10名ほどで、消えゆく町家を毛糸で彩り、最期を看取りました。(写真1) 人の最期に死化粧をしキレイにして見送る、それは家も同じ。その時にどこからともなく「おくりいえ」という声があがり、名前がつけました。

取り壊される町家を「送る」から始まりましたが、5回目に、その町家に住みたいという30代のご夫妻が現れます。「送る」から「贈る」になった瞬間です。「中にはゴミがいっぱい、このままでは住めない。」ということで、みんなでびっぴかにお掃除して、そのご夫妻に贈りました。以後53回(2020年3月現在)まで、9割近くが「贈る」になっており、イベント内容としても、これが定番となっています。

県を超え、鳥取や宮崎、秋田でも開催していただい



写真1 毛糸で彩る

写真2 秋田の方々と交流

写真3 最後の晩餐

います。その場合の主催は地元の方、こちらが参加させていただくというスタイルです。

その地域ごとの建築に、内部に眠るモノに、違いがあります。町に特性があります、人には個性があります。その土地の方々と交わることができる。建築やモノを介して過去から現在、未来につながる様々な話ができる。(写真2) これは、おくりいえの財産です。ここから先、その土地土地に合ったおくりいえが増えていったら、そして、それにこっそり参加できたら、と思っています。次の100年、さらにその先は、地域に何百年もひっそりと受け継がれている神事や祭りのように、土地土地にしっかり根付いていてくれたらとステキ、と密かに想いを巡らしていたりもします。

お掃除していく中で、お気に入りのモノあらば持ち帰っていただく。ゴミが減ると同時に、捨てられたかもしれないモノたちが新たな地で活躍し始める。その内容のイベントばかりではありません。解体が決定していた築約100年の仕出し屋さんでは、その家にとって何が一番良いかを考え、「この家の歴史上、最大の宴で幕を閉じよう!」ということになりました。最後に食べたいモノを持ち寄り「最後の晩餐」と称して、華やかに宴を開催。そして、タイトル通り、参加者に演じてもらっての記念写真。(写真3)

最期にお家も笑ってくれたんじゃないかな、と思うのです。毎回、その家にとって最善のおくりいえを考えて、実行させてもらっています。

奇跡的な出逢いや出来事があったりもします。家が、モノが、運んでくれるご縁は毎回不思議なことでいっぱい、みんなで泣いたことも、つながりに驚いたこともあります。今思い出しても、胸キュンキュン。そこにはドラマ以上のドラマがあります。ここで書いてしまっただけではもったいないので、詳しい話は是非直接聞いてください。将来どこかで映画化してもらえんじゃないかという期待も込めて、笑。

このように何かしらの行動をおこし続けると、いろいろな発見があります。おくりいえをしても絶対にもらわれないモノってなんだか分かりますか？答えは、トロフィーや賞状、家人が写っている写真等です。本人が大切にしているモノほど、他人にとっては不必要だと知ることができます。逆に言えば、「モノ」になってしまっているモノには、次の貰い手があります。服や器、小物や古木、テーブルや箆等の家財道具一式、魂抜きをしてある仏壇まで。ゴミにはならず、次の方が大切に活かさたりしています。価値観、ちょっぴり見直したくなるのではないのでしょうか？

10年で約50件、おくらせてもらいました。金沢はもちろん、遠方からも毎回たくさんの方にご参加いただいています。建築やモノが介在しているおかげで、その家の家族構成から、お人柄、お顔立ちまで、感じられるようになりました。何度も参加してくれてる方々も同じようなことをおっしゃいます。共有できることが増えていく豊かさ、あたたかさ。このプロジェクトに参加して下さる方々との出逢いは、私のなによりの財産です。



写真4 ツナギを着た、建築を、モノを、人を、心を、つなぐ、つなぎ隊
写真5、6 おくりいえの風景

開催を告知すると、どこからともなくやってきてくれて、一緒に場を、時を、会話を、楽しんでもくれる。みんな、本当に面白い。日々豊かに、楽しく過ごさせてもらっているのは、そんな廻りのみんなのおかげです。心より感謝を込めて、ありがとう！（写真4）

家は生きています、人と同じ。人より命が長かったりもします。心を込めておくってあげることで、感じるものが多くあります。これからもご縁をいただいた家をひとつひとつ、大切におくっていきたいと思っています。ひいてはそれが、町の、金沢の、日本の、キラキラにつながると信じて。（写真5、6）

3. まちのいえ

「建築やられてたんですね！」よく言われます。おくりいえは、おくるだけ。その後、設計監理で関わることはほぼないからかと。

ひとつの家が次につながるお手伝いできれば、家の長い歴史にほんの少し関わらせてもらえれば、幸せです。仕事も同じ想いでやっています。自然と町家改修、空き家活用、リノベーション、家を次につなぐようなお仕事が増えます。それも住宅よりも、まちにちょっぴり開く、そんな要望が多めです。身の廻りのお話から。

2010年、町家を借りて『あとといえ。』を始めました。2年ぶりの契約更新の中で、大家さんが高齢になってこられたこともあり、2016年、その町家を引き継がせてもらうことができました。「いい人を買ってもらえてよかった、家も喜んで。」家主さんからいただいた最高の言葉！ここから半世紀ほど大切に活用させていただいて、時がきたら、また次の世代にと思っています。

2014年、事務所の2軒隣の町家が取り壊されそうになっていることを知り、友人知人に声をかけました。買ってくれたのは東京出身の30代の新聞記者さん。仕事柄、様々なところで暮らしてきたけれど、金沢の方に一番よくしてもらった、そしてどこよりも住みやすい、とのこと。いずれ転勤はあるけれど、金沢に恩返しをしたいと、それまでに貯めてきた貯金を叩いて買ってくれました。

まずは仲間内でのお掃除から。全体の間取りは大きく変えず、押入やトイレになってしまっていた通り土間は復活させ、その部分を本棚スペースにしました。1階が店舗で、2階が住まい。改修は施工者さんをお願いしましたが、家具の塗装など、できることは仲間内で。（写真A）

最後は、みんなで本を持ち寄り、オープン！通り土間に本棚がいっぱいになったところで、夜の図書館「べる」の誕生です。（写真B）仕事の合間を縫ってなので、オー

ブンは週に一度ほど、夜にゆるゆると。それでも、マニアックな方々がやってきてくれて、多くの出会いやコミュニティが生まれました。

そこから2年。予定通り初代バーは転勤となり、町家を貸すことに。その時の条件はひとつ、夜の図書館を続けてくれること。そうして2代目バーにつながり、今も変わらず週に一度、夜に営業されています。高校生が勉強につかっていたり、読書会が催されたり、静かながら多彩な賑わいを魅せています。壊されそうだった町家が、ちょっぴり町に開かれました。



写真A 塗装中

写真B 通り土間復活、手伝ってくれた方々とのオープニングパーティ

そこから徒歩1分。浅野川に面した家が空き家だと知ったのは2017年です。町家でもなく、趣があるという訳でもないのですが、借りようと思ったのは、川に面していて景色が素晴らしかったから。このまま空けておくのもったいない、と仲間数人で借りることに成功しました。

改修はせず、そのまま。浅野川沿いに桜を増やしたいと思い、お庭に1本の桜を植えました。(写真C) そこから2年はGoogleカレンダーを共有し、各々が好きな時間を過ごしました。打合せに、各種イベント、川を眺めながらのパーティと、いろいろ楽しませてもらいました。

昨年、転機が訪れます。まさかの、夜の図書館2号店の話がもちあがり、それならここで!と話は一気に進みました。ただ、本は一冊もなく、お金もありません。その都度、DIYをしながら、イベントをしながら、本棚をつくり、本を集めて、みんなでつくっていくという、夜の図書館「もーり」の誕生です。(写真D、E)

1室だけをリノベーション。カーペットから土間にし、少しずつ本棚をつくっていきました。その間に、仲間が増えます。取材も増えました。なににもないところから、みんな

で共有して、育てていく。そのことに大きな意味があると思っています。当初月一でのオープンでしたが、一通りの本棚も揃ったので、これから開館日も増えそうです。いずれも、事務所から徒歩数分。30代の2代目バー、20代のもーり。高齢化、空き家化が進む静かな住宅地に若い力が入ってきてくれた、ハッピーなお話です。

さらに徒歩10分圏内に広げると、町家改修させてもらったレンタルスペースがあり、今は、陶芸家さんのアトリエ改修や、空き家をカフェにするお手伝いをしています。日々の生活がより楽しくなりつつあります。



写真C みんなで植えた大事な桜

写真D イメージパース

写真E ワークショップの日

所変わって、石川県能美市でのお話です。2014年、旧北国街道沿にある空き家が、焼き菓子屋さんに生まれ変わりました。通り沿いは作家さんたちのチャレンジショップになっていて、その横たった1間。見た目には入口と分からない引戸を開け、ずんずん奥に入っていくと、10坪ほどの空間が見えてきます。カフェにもなっていて、目立たない場所にあるにも関わらず日々多くの方で賑わっています。

関わらせてもらった中で一番の仕事といえば、通り土間とカフェ空間の塗装。(写真F) たくさんの方にご参加いただけて、ご近所さんも来てくださって、オープン前にご近所づきあいが自然と生まれました。ファンも増えました。キレイになった空間に、この空間に元々眠っていたモノたちを置き、オープン。ご近所さんたちも笑顔でした。

(写真G) 素朴で味わい深い焼き菓子のファンは多く、6年経った今も変わらず多くの方々に愛されています。

そこから徒歩数分の同街道沿い、この地域に唯一残る町家の家主さんからお声がかかったのは、それから1年が経過したころです。古希を迎えるにあたって、人生の集



写真F 塗装の日

写真G オープンの日

大成として、やりたかったことが、とのこと。前面道路から見ると立派な町家。ですが、改修したのはそこではなくて、先ほどの焼き菓子屋さん同様、前面道路からの長い長い通り土間を抜けた先に、10坪ほどの空間があり、その部分の改修です。

元々は和室と水廻りでしたが、大分朽ちており、木製のガラス窓も外れそうな状態でした。その空間を、家主さんはご近所さんたちが集える、土足のままでも気軽に入ってこられる場所にしたい、と。名前も決まっていた、私（わたくし）カフェ。

通り土間から整備する必要がありました。物置になっていた部分を土間に戻し、通り土間に。（写真H）その上で、その奥10坪の私カフェを改修。ちなみに、カフェといってもカフェでなく、お金をいただく訳でもありません。用途ありません。しいていうなら「私」を「公」に開いて、共に味わう場。

オープン後、ビックリしたのは、訪れる方々の多さ。（写真I）来場者の帳面を見せてもらったことがあります。そこに並んでいた数たるや。なにもない、だけど全てがつまっている。ご夫妻のお人柄に魅せられての来場であることは間違いありません。



写真H 通り土間と私カフェ

写真I 集う人々

前面道路に面した町家を含めてのイベントも開かれており、大きな反響を呼んでいます。1カ所で改修させてもらって廻りでなにかしらのお声をかけていただけることが多いです。賑わいは近くに数カ所あったほうが絶対に楽しい！ので、一緒にワクワクさせてもらっています。行く先々で、そのような場所が増えつつあって、楽しさは年々より大きくなっています。

4. これから

今、世界がどんどん動いています。このお話をいただいた時から、書くまでの間にも圧倒的なスピードで。発行されるまでも状況は変わっているんだと思います。書くことも変わるかも、と思ったのですが、変わりませんでした。仕事もさほど変わらず、させてもらっています。

1人の設計事務所なので、元々がテレワークのようなもの。現場も小さいので、大工さんが1人に、各業者さんにもできるだけ日時を変えて入ってもらうことが可能です。物件ごとに2人で設計監理をすることが多いのですが、そのもう1人にも元々、別の事務所を構えてもらっているの、大きな影響はありません。その方の時間とコストを、最大限有効につかってもらえればと思っています。

別に事務所を構えてもらおうと、空き家がひとつ減ったりする可能性も。先述した夜の図書館も一りは、これからデザイン事務所としても動き出します。一緒に仕事できる仲間が増えそうです。

空き家が減り、仲間は増える。一人一軒運動、と密かに呼んでいて、一人一軒以上の家に関わってもらえたら、空き家問題は解決しちゃうんじゃないかと思っていたりします。しっかり改修となればコストはかかるでしょう。でも、DIY等でできるところからとなれば、敷居は幾分か下がります。まずは気にかけてもらう。そうして長く家に関わってもらう。さらにその場に関わっていく人数を増やしていく。そんな小さなことでも10年経つと大きく変わります。1年で10軒に関わることができれば、10年で100軒。町をより美しく、楽しくできる可能性が高まります。そんなふうに、今、日々お仕事させてもらっています。

時が経てば経つほど、楽しくなることは間違いなくて。時代によって手法は多少変わるかもしれませんが、信念というか、そんなところは変わらない。町家はもちろん、空き家も、すべてがお宝！これからも小さな物語をいっぱい、町をより明るく楽しくしていきたいと思っています。それがライフワークだと思って、生きてます。

新型コロナウイルスの感染拡大！ こんな時だからエアー観光

(株)新潟トラベル 常務取締役 山崎康裕

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、観光業界は直接的に被害を被り悲惨な状況となっております。旅行業者はお客様の利用が殆どなく、開店休業状態ですし、交通機関、宿泊施設、観光施設共に全くお客様が動かない状況です。

観光業に係る会社では、臨時休業や時間短縮などで経費削減に努めておりますが、終息が見えない現状では今後の展開が読めない状況です。早期の終息を祈願するのみです。

最後のハワイツアー

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で政府から自粛要請が出される1か月ほど前の2月18日からハワイのツアーがあり、私が添乗員として同行致しました。その時点では、ハワイでの感染者の情報はなく、航空会社も全日空を利用していることを考慮し、実施致しました。

予約をした頃(2019年8月)は大変混んでおり、予約を取る事が難しい状況でしたが、当日の座席は70%程度の搭乗率で、影響が出始めている兆候が見受けられました。ワイキキも閑散としている状況で、何十年も訪れていますが、初めてでした。復路で成田空港に到着した時、検疫ゲートで東南アジア方面からの帰国者は厳重な検疫が実施されておりましたが、ハワイからの帰国者は簡単な検疫でした。



ハワイ島、ワイコロア ビーチ マリオット
リゾート&スパのプール

ビーチに人がいない！



ワイキキビーチ



ホノルル、アウトリガー ワイキキ ビーチ リゾート
カラカウア通りに面したホテル



インターナショナルマーケットの正面玄関



カラカウア通り

どこへ行っても
人がほとんどいません！

エアー観光

政府からの自粛要請で旅行へ行くことも出来ない状況です。旅行どころか、飲食店や娯楽施設へも行けない状況です。そこで最近注目されている観光は、「エアー観光」です。

エアー観光は、インターネットを使い観光地や観光施設が提供している動画を見て、観光気分を楽しむものです。つまり「エアーギター」と同じで、ギターは無いのですが、ギターがあるが如く演奏することと同じとお考え下さい。

実際には行けない観光地や施設などの動画を閲覧し、訪問した気分になります。有名なレストランやホテルなども閲覧すれば、新たな発見があるかもしれません。様々なサイトを駆使すれば、世界旅行も十分楽しめます。

参考

おきなわ観光情報WEBサイト おきなわものがたり

[おきなわものがたり] で検索

<https://www.okinawastory.jp/>

エアー観光の例

トリップアドバイザーのエアー観光のページ

[トリップアドバイザー エアー観光] で検索

https://www.tripadvisor.jp/Attractions-g499628-Activities-Ayr_Queensland.html

これらはあくまで一例です。検索サイトで「エアー観光」と入力すると、様々なサイトがありますのでお試しください。自宅に居ながら「国内旅行」「世界旅行」が楽しめます。是非、感染拡大防止の観点で「三密」を避けて、自宅でお楽しみください。

沖縄美ら海水族館



首里城は火災で焼失、守礼の門は健在

エアー観光の楽しみ方：沖縄編

映像や写真だけで楽しむ方法もありますが、旅行気分になったのであれば現地の食事も是非お試しください。例えば沖縄旅行をしたいのであれば、検索サイトに「沖縄 観光地」などと入力すれば、観光地や郷土料理、地酒などの情報が得られます。現在では日本国内でほとんどが流通しておりますが、本物志向であればお取り寄せも可能です。例えば、酒は「泡盛」、つまみは「ゴーヤチャンプルー」、しめに「沖縄そば」を準備してエアー観光を楽しんで頂ければ、楽しさは2倍に期待できます。近くに「沖縄料理」の店がある場合は、料理をテイクアウトして、酒屋で泡盛を購入して本格的な料理も楽しめます。三密を避けて

自宅でもエアー観光は如何でしょうか？



ゴーヤチャンプルー



沖縄そば



「泡盛」
久米島の久米仙 30°
(1升/1,860円税別)

BIM/CIM講習会 「橋梁設計における3次元設計への取り組み」

〈技術部会 橋梁委員会〉

1. はじめに

国土交通省が推進するi-Constructionの本格化に向け、平成29年3月に「CIM導入ガイドライン（案）」が作成・公表され、令和元年5月に改訂されている。建設コンサルタントにおいては、BIM/CIMを活用する業務が増加する一方で、3次元モデル活用の技術レベル向上が課題となっている。そのような状況をうけて、3次元設計への取り組み推進を目的に、令和2年1月24日（金）、新潟市興和ビルにおいて「橋梁設計における3次元設計への取り組み」と題して、BIM/CIM講習会が開催された。参加者は63名であった。



講習会場の様子

2. 講習会プログラム

○第1部講演

「橋梁分野におけるBIM/CIMの現状と今後の動向等」

（一社）建設コンサルサルトンツ協会 北陸支部

大日本コンサルタント株式会社 和泉 繁 氏



司会進行：初鹿氏



第1部、第2部①講師：和泉氏

○第2部講演

「橋梁設計における取り組み事例」

（一社）建設コンサルサルトンツ協会 北陸支部

①交差点立体化に伴う連続高架橋のCIM事例

大日本コンサルタント株式会社 和泉 繁 氏

②河川を渡河する鋼連続箱桁橋のCIM事例

開発技建株式会社 小川 篤 氏

③ボックスカルバートと隣接する単純PC桁橋のCIM事例

東京コンサルサルトンツ株式会社 白倉 誠 氏



第2部②講師：小川氏



第2部③講師：白倉氏

3. 講演の内容

各講演の概要は以下のとおりである。

3.1 橋梁分野におけるBIM/CIMの現状と今後の動向

（1）令和元年改定 各種要領等

- ・ CIMモデルの考え方、分類・構成、詳細度、成果品の提出形態
- ・ 測量の基本方針、地形モデルの作成手法
- ・ 地質・土質調査の基本方針、モデルの種類

（2）設計－施工間の情報連携を目的とした

4次元モデルの考え方（案）

従来は2次元図面や工程表において実施された情報伝達が、3次元モデルに時間情報を加えた4次元モデルを用いた設計－施工の情報連携が、国総研において検討されている。現段階では、3次元モデルに付与する情報が不明確であり、設計者の知見に頼らざるを得ないことが課題である。本講演では、計画・設計段階での4次元

モデルの利用場面と共に、事業計画の立案や管理、施工方法や設定工期の妥当性の確認、複数関係者間の意思決定、施工者への設計思想の伝達など、4次元モデルの利用場面毎に対応する考え方が示された。

3.2 橋梁設計における取り組み事例

各事例紹介の概要は以下のとおりである。

①交差点立体化に伴う連続高架橋のCIM事例

3径間連続鋼床版箱桁橋（L=149.3m）、3径間連続鋼床版ラーメン箱桁橋（L=184m）の2事例が紹介された。この事例における「契約図書化に向けたCIMモデルの構築」、「関係者間での情報連携およびオンライン電子納品」、「CIMモデルにおける属性情報の付与」、「CIMモデルによる数量、工事費、工期の算出」、「施工段階を見据えたCIMモデルの構築」、「CIMモデルによる効率的な照査の実施」についてそれぞれの活用効果、課題・留意点、解決策が示された。CIM活用推進にむけて、作業環境の整備、人材育成、技術開発、運用ルール整備を行っていく必要がある。



交差点立体化に伴う連続高架橋のCIM事例

②河川を渡河する鋼連続箱桁橋のCIM事例

長大河川を渡る9径間連続非合成細幅箱桁橋の設計事例が紹介された。施工モデル作成では、様々な3Dモデルを結合し、アニメーションを作成することで干渉チェックを行った。CIMモデルを作成することで、配筋の取り合い、施工手順等を可視化することができ、わかり易くすることができる。材料データなど蓄積可能であるため、情報の更新により維持管理への活用が可能となるなどの利点がある。2D作成後に3D作業となり、詳細設計終盤

に3Dモデルを作成することとなり、通常より工期が必要となる。スキル不足により、多くの時間を要するなどの課題がある。



河川を渡河する鋼連続箱桁橋のCIM事例

③ボックスカルバートと隣接する単純PC桁橋のCIM事例

条件誤認の防止、設計・施工計画の妥当性の確認を図ること、照査の効率化や関係者との理解促進による業務効率化を図ることを目的として単純PC桁橋設計にCIMを導入した。実際にCIMを導入した結果は、業務の早い段階でCIMモデルを作成しチェックすることで、早い段階での問題点抽出が可能となり、手戻りを減らすことができた。施工計画モデルを顧客協議や関係機関協議で提示することで協議の効率化や合意形成の迅速化に非常に有効であった。また、3次元モデル化による可視化を利用して施工計画、交差物件とのクリアランス、部材の干渉などの照査の効率化を図ることができた。本業務では、単純PC桁橋であっても、CIMの導入効果が高いことが示された。



ボックスカルバートと隣接する単純PC桁橋のCIM事例

4. おわりに

第1部ではBIM/CIMの現在の動向と今後の動向について、第2部では橋梁設計におけるCIMの活用事例を紹介頂いた。いずれも貴重で有益な講演であった。BIM/CIM講習会開催にあたり、北陸地方整備局、建設業関係者ならびに建設コンサルタンツ協会から多数のご参加を頂きまして、ありがとうございました。

ご多忙中、資料を丁寧に作成され、遠方から御足労頂いた講師各位に心より感謝申し上げます。

令和元年度 「独占禁止法等遵守に関する講習会」報告

〈倫理・法令委員会〉

1. 講習会の概要

令和2年2月17日、独占禁止法等遵守に関する講習会を新潟市の興和ビルにて開催したので報告します。

当日は、会員63社のうち29社から役員15名、社員49名、計64名が参加されました。講師の松浦弘和様には、公正取引委員会の役割にはじまり、独占禁止法の概要、最近の違反事例や相談事例、相談制度まで、具体的に分かりやすく解説していただきました。

2. 次第と開会挨拶

1. 開会挨拶 支部長 寺本 邦一

2. 講演

演題：「独占禁止法の概要と最近の事例」

講師：公正取引委員会事務総局 取引部

相談指導室 企画調整係長 松浦 弘和 氏

3. 閉会挨拶 総務部会長 青木 和之

開会に際し、寺本北陸支部長より講師への謝辞があり、続いて以下の挨拶がありました。

「建設コンサルタンツ協会は、近年の気候変動により大規模災害が頻発化・激甚化する中、防災・減災、国土強靱化に向けて社会的使命を果たして行くことが期待されています。(中略) 建設コンサルタント業は社会的に重要な業務を遂行しており、法令を遵守する倫理観を持った活動を実践し、社会の信頼の維持向上に努めていかなければなりません。本日の講演会をよく聴いて、そのことを適切な取り組みに活かす。そして、コンプライアンスを確立する建設コンサルタントの活動を推進していただくよう皆様をお願いして、挨拶いたします。」



寺本支部長の開会挨拶

3. 松浦氏の講演概要



講師：公正取引委員会 松浦弘和様

独占禁止法の概要と最近の事例

講演に先立ち、講師の松浦様からは、独占禁止法とはどのようなものか、どのような行為が禁じられているのかを知ってもらいたいこと、また、本日の資料をテキスト代わりに使い、迷うことがある場合には、全国の相談窓口があるので利用してほしいとのお願いがありました。

以下に講演の要旨を報告します。

(1) 公正取引委員会

公正取引委員会は、入札談合やカルテル以外にも様々な経済一般について関心を持って取り組んでいる。

また、市場の番人と呼ばれており、マークは「市場を見ている」という「目」を表している。平成30年度は延べ46名の事業者に対して8件の排除命令を行って、延べ18名の事業者に対して総額2億6,111万円の課徴金納付命令を行った。今年度の課徴金は、この時点で600億円ぐらいになっている。

(2) 独占禁止法の概要

- ①独占禁止法とは：市場において、公正で自由な競争が確保されるために事業者が守るべき基本ルールである。
- ②競争のメリット：事業者間の競争により商品開発・改良による性能アップ、生産の合理化が進み、消費者ニーズを捉えることにより、事業の活発化・発展、消費者

利益の確保につながる。

- ③ 禁止行為：1) 私的独占、2) 不当な取引制限、3) 不公正な取引方法、4) 競争制限的な企業結合の4つの行為を禁止している。法律の適用は幅を持っており、事案ごとの背景や目的、手段を踏まえて認定する。我々の業界が関係するのはカルテルや入札談合などの不当な取引制限だが、入札談合はしばしば官製談合の場合があり、公正取引委員会は特に力を入れ撲滅に向けて動いている。
- ④ 違反行為に対する措置等：違反行為に対して、1) 排除措置命令、2) 課徴金納付命令、3) 罰則の措置がとられる。違反者の名前はいつまでも消えないばかりか、上場企業では課徴金の納付や排除措置命令により株価が影響を受け株主訴訟を受けることがある。
- ⑤ 課徴金減免制度：この制度は、カルテルや談合は秘密裏に行われ発覚が難しいことから、発見・解明を目的に作られ、自主申告してきた場合には課徴金を科さない、もしくは減免するというものである。立入検査前に真っ先に申告すると課徴金は免除になり、刑事罰も科されることはなくなるケースが多い。メリットがあるので、公正取引委員会の課徴金の対象となる事件の85%位はこの制度によって発覚している。
- ⑥ 罰則：罰則は、個人も法人も刑事告発の対象なので、両方とも懲役や罰金が科される。
- ⑦ 被害者による損害賠償請求：独占禁止法の違反行為に対しては、公正取引委員会からの事実を認定した法的措置が確定しているので、民法で損害賠償請求される可能性は通常より高くなる。
- ⑧ 事業者団体の禁止行為：事業者団体が行う行為は、場合によっては独占禁止法上違反行為となる恐れがあり、個人が一社単位で行うよりも団体として行為を行った方が厳しい結果となることが多い。しかし、ある程度の営業に係るようなことをしなければ、業界団体や

事業者団体としての活動ができなくなるので、「事業者団体の活動に関する独占禁止法の指針」により適切な活動を規定している。

(3) 違反事例、相談事例

入札談合の事例は、宮城県北部土木事務所発注の特定建設関連業務において、違反業者8社が順番に落札業者を決めていたというものである。参考資料の排除命令書は公開されており、こういった事案は年間何件も発生している。

まだ日本では導入していないが、最近、世界各国で見ると、いわゆるAIやコンピュータを使って入札談合をサーチすることが行われている。事例のように100%の受注率でなくて50%でも、30%の受注率でも違反行為として認定することができるので、ご注意ください。

(4) 相談制度

公正取引委員会は、事業者や事業者団体が、自ら行おうとする個別具体的な内容が独占禁止法上の問題になるかどうかについての相談を、全国で受付けている。

相談窓口

新潟県：公正取引事務総局（霞が関）
富山県、石川県：中部事務所（名古屋）

4. 最後に

本講演では、「禁止行為」や「課徴金減免制度」、「事業団体の禁止行為」、「違反事例」、「排除措置命令」等について、具体的な事例を提示しながら、丁寧で分かりやすい説明をいただきました。営業に係る多くの参加者が一番身近に感じる「独占禁止法とはどのようなものか」、「どのような行為が禁じられているのか」について学び、「自由で公正な競争の重要性」を強く再認識することができたと思います。また、そのことを社内の関係者と情報を共有して、より良い営業活動や協会活動に繋げていただけるものと思います。

講師の松浦弘和様には、この場をお借りして感謝申し上げます。



講演会場の様子



青木総務部会長の閉会挨拶

令和2年度(第38回) 北陸支部定時総会

〈総務部会〉

1. 概要

去る令和2年4月16日(木)新潟グランドホテルにおいて、令和2年度(第38回)北陸支部定時総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会出席者を各社1名に限定したほか、会場受付にて一人ひとりに検温するなど、徹底した措置を講じたなかでの開催となりました。



問診及び検温状況

総会は会員企業64社のうち、45社が委任状、19社の出席をいただき、総会成立の宣言に続き寺本支部長の挨拶がありました。

挨拶では、公共事業予算が前年並みに確保されたこと、設計技術者単価が8年連続で引き上げられたこと等に触れ、「取り巻く環境は着実に改善されている」と述べ、また、今年度から改正労働基準法による時間外労働の罰則付き上限規制が中小企業にも適用されることから「働き方改革による成果を上げなければならない」と強調し、「気候変動による激甚災害に対する対応や、北陸地域の持続的発展・魅力ある将来に向けて、建設コンサルタントとしての使命を果たすことが重要である」と表明されました。



寺本支部長の挨拶



議事の様子

2. 議事概要

令和2年度(第38回)北陸支部定時総会【概要】

1. 支部長挨拶
2. 議事録署名人委託
議事録署名人
(株)長大 北陸事務所
課長 川端 博文 様
八千代エンジニアリング(株)
北陸支店 支店長 柏木 久徳 様
3. 議事

議案	第1号	令和元年度事業報告(案)
議案	第2号	令和元年度収入支出決算報告(案)
		監査報告
報告事項	第1号	令和2年度事業計画
報告事項	第2号	令和2年度収入支出予算

支部長挨拶の後、議長より議事録署名人が委嘱され議事に入りました。

議事では、令和元年度事業報告(案)及び収入支出決算報告(案)、令和2年度事業計画及び収入支出予算が提出され、それぞれ原案どおり承認されました。

令和2年度事業計画では、会員の技術力向上のための調査研究や、地域社会への貢献活動など13の事業を中心に各部会が活動することを決定しました。

- 対外活動部会：発注機関との意見交換に関する事項
- 総務部会：会員会社の経営基盤等に関する事項
倫理・法令等の遵守に関する事項
- 技術部会：技術力向上に関する調査研究、講習会
社会貢献活動等に関する事項
- 広報部会：広報活動、社会貢献活動
広報誌等に関する事項
- 災害対策部会：災害対策活動、訓練等に関する事項
災害対策活動支援の検討、調整に関する事項

以上、令和2年度(第38回)北陸支部定時総会の概要をお知らせいたします。

なお、国土交通省 顧問 森 昌文様をお招きして開催予定としていた講演会は中止とさせていただきました。

総会にて承認された事業計画の実施にあたっては、支部会員の皆様からご支援、ご協力を賜り、円滑に実施してまいります。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部

会 員 名 簿

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
朝日航洋(株)	新潟支店	950-0088 新潟市中央区万代2-3-6 新潟東京海上日動ビル2F	025-249-1150 025-249-1155
旭調査設計(株)		950-0908 新潟市中央区幸西1-1-11	025-245-8345 025-245-8349
アジア航測(株)	新潟営業所	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-28 パーク新潟東大通ビル	025-243-3246 025-247-7969
(株)アルゴス		944-0009 妙高市東陽町1-1	0255-72-3448 0255-72-9426
アルスコンサルタンツ(株)		920-0362 金沢市古府2-76	076-248-4004 076-248-4174
いであ(株)	北陸支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-1 カープ新潟ビル8F	025-241-0283 025-243-5650
(株)エイト日本技術開発	新潟事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル8F	025-256-8611 025-256-8612
エヌシーイー(株)		950-0954 新潟市中央区美咲町1-7-25	025-285-8540 025-285-3531
大原技術(株)		940-0856 長岡市美沢3-511	0258-35-4511 0258-36-3254
応用地質(株)	北信越事務所	950-0864 新潟市東区紫竹7-27-35	025-274-5656 025-271-6765
(株)オリエンタルコンサルタンツ	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 ブレイス新潟4F	025-244-7881 025-244-7387
開発技建(株)		950-0914 新潟市中央区紫竹山7-13-16	025-245-7131 025-245-7132
(株)開発技術コンサルタント		951-8133 新潟市中央区川岸町3-33-3	025-233-0204 025-233-6465
川崎地質(株)	北陸支店	950-0914 新潟市中央区紫竹山5-7-5	025-241-6294 025-241-6226
北建コンサル(株)		933-0941 高岡市内免3-3-6	0766-23-3666 0766-23-3987
(株)キタック		950-0965 新潟市中央区新光町10-2	025-281-1111 025-281-0002

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
(株)協和		933-0838 高岡市北島1406	0766-22-2100 0766-22-7602
(株)協和コンサルタンツ	新潟営業所	940-0061 長岡市城内町3-8-7 蒼柴ビル801	025-889-8302 025-889-8304
(株)クリエイトセンター		951-8133 新潟市中央区川岸町2-8-1	025-232-7121 025-232-7130
(株)クレアリア	北陸支店	950-0973 新潟市中央区上近江2-9-19 レジデンス近江101	025-288-6893 025-288-6894
(株)建成コンサルタント		933-0014 高岡市野村284-1	0766-25-6097 0766-25-5697
建設技研コンサルタンツ(株)		933-0007 高岡市角602-1	0766-21-6126 0766-21-6192
(株)建設環境研究所	新潟支店	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル7F	025-285-6437 025-280-9750
(株)建設技術研究所	北陸支社	950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 NBF新潟テレコムビル	025-245-3883 025-241-9082
(株)構造技研新潟		950-0932 新潟市中央区長潟1204-2	025-288-6800 025-288-6824
国際航業(株)	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟	025-247-0318 025-241-4146
(株)国土開発センター		921-8033 金沢市寺町3-9-41	076-247-5080 076-247-5090
国土防災技術(株)	新潟支店	950-2042 新潟市西区坂井1035-1	025-260-2245 025-260-7522
五大開発(株)		921-8051 金沢市黒田1-35	076-240-6588 076-240-6575
サンコーコンサルタント(株)	北陸支店	950-2055 新潟市西区寺尾上4-4-15	025-260-3141 025-268-4950
(株)上智		939-1351 砺波市千代176-1	0763-33-2085 0763-33-2558
(株)新日本コンサルタント		930-0857 富山市奥田新町1-23	076-464-6520 076-464-6671

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
相互技術(株)		950-0994 新潟市中央区上所2-11-14	025-283-0150 025-283-0152
大日本コンサルタント(株)	北陸支社	930-0029 富山市本町3-21 損保ジャパン富山ビル	076-415-7800 076-415-7795
(株)ダイヤコンサルタント	北陸支店	950-2001 新潟市西区浦山4-1-24	025-234-2110 025-234-2111
館下コンサルタンツ(株)		939-3553 富山市水橋的場234	076-478-0090 076-478-1190
中央開発(株)	北陸支店	950-0982 新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル	025-283-0211 025-283-0212
(株)中部コンサルタント		933-0866 高岡市清水町3-5-9	0766-21-4536 0766-22-4370
(株)長大	北陸事務所	950-0965 新潟市中央区新光町6-1 興和ビル6F	025-288-0271 025-288-0273
(株)千代田コンサルタント	新潟営業所	950-0911 新潟市中央区笹口1-19-31	025-244-8445 025-249-4776
(株)ティーネットジャパン	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通1-7-10 新潟セントラルビル	025-246-1920 025-246-2162
(株)東京建設コンサルタント	北陸支社	950-0087 新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル	025-248-3870 025-248-3877
東京コンサルタンツ(株)	新潟支店	950-0912 新潟市中央区南笹口1-1-12 クラスターナインビル8F	025-246-1827 025-246-7463
(株)東北開発コンサルタント	新潟営業所	950-0154 新潟市江南区荻曽根1-5-15	025-382-6106 025-381-3144
(株)東洋設計		920-0016 金沢市諸江町中丁212-1	076-233-1124 076-233-1224
ナチュラルコンサルタント(株)		921-8066 金沢市矢木2-147	076-246-1170 076-246-4493
(株)ナルサワコンサルタント		950-0964 新潟市中央区綱川原1-21-11	025-282-2070 025-284-7993
(株)日本インシーク	新潟支店	950-0087 新潟市中央区東大通1-3-8 明治安田生命新潟駅前ビル5F	025-246-1320 025-247-3740

会 社 名	事業所名	住 所	電話番号 FAX番号
(株)日本海コンサルタント		921-8042 金沢市泉本町2-126	076-243-8258 076-243-0887
日本工営(株)	新潟支店	950-0962 新潟市中央区出来島1-11-28	025-280-1701 025-283-0898
(株)日本港湾コンサルタント	北陸事務所	950-0087 新潟市中央区東大通2-5-8	025-243-0431 025-241-1806
(株)ニュージェック	北陸支店	950-0911 新潟市中央区笹口2-10-1 WIN21 4F	025-243-4471 025-243-4472
パシフィックコンサルタンツ(株)	北陸支社	950-0917 新潟市中央区天神1-1 プラーカ3 6F	025-247-1341 025-246-1005
(株)パスコ	新潟支店	950-0916 新潟市中央区米山3-1-63	025-243-0051 025-241-8654
(株)プラネット・コンサルタント		920-0017 金沢市諸江町下丁372	076-255-0630 076-255-0672
北電技術コンサルタント(株)		930-0858 富山市牛島町13-15	076-432-9936 076-432-4280
北陸コンサルタント(株)		939-8213 富山市黒瀬192	076-493-7717 076-493-7720
三井共同建設コンサルタント(株)	北陸事務所	951-8067 新潟市中央区本町通7番町1153	025-224-1285 025-224-1286
(株)村尾技建		950-0948 新潟市中央区女池南2-4-17	025-284-6100 025-283-0368
(株)村尾地研		939-8262 富山市塚原150	076-429-2511 076-429-2603
明治コンサルタント(株)	北陸支店	950-2002 新潟市西区青山1-1-22	025-265-1122 025-265-1126
八千代エンジニアリング(株)	北陸支店	950-0088 新潟市中央区万代1-1-1 朝日生命新潟ビル	025-243-5454 025-243-5883
(一社) 北陸地域づくり協会		950-0197 新潟市江南区亀田工業団地2-3-4	025-381-1020 025-383-1205
(一財) 新潟県建設技術センター		950-1101 新潟市西区山田2522-18	025-267-4804 025-267-4854

各部会・委員会委員名簿

北 陸 支 部 役 員			
支部理事	支部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副支部長	大 平 豊	エヌシーイー(株)
〃	副支部長	渡 辺 正 三	大日本コンサルタント(株)
〃	副支部長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	運営委員長	坂 上 悟	開発技建(株)
〃	運営委員	黒 木 康 生	(株)日本海コンサルタント
〃	運営委員	瀬 川 光太郎	(株)建成コンサルタント
〃	運営委員	末 武 晋 一	日本工営(株)
〃	運営委員	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
〃	運営委員	齊 木 勝	(株)キタック
〃	運営委員	笹 谷 輝 彦	(株)国土開発センター
支部監事	支部監事	高 堂 景 寿	相互技術(株)
〃	支部監事	船 谷 喜代文	旭調査設計(株)

対 外 活 動 部 会			
	部会長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
	部会員	大 平 豊	エヌシーイー(株)
	部会員	渡 辺 正 三	大日本コンサルタント(株)
	部会員	新 家 久 司	(株)国土開発センター
	部会幹事	坂 上 悟	開発技建(株)
	部会員	田 中 義 明	大日本コンサルタント(株)
	部会員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント
	部会員	渡 部 長 務	エヌシーイー(株)
	部会員	酒 井 大 助	八千代エンジニアリング(株)
新潟地域委員会	委員長	齊 木 勝	(株)キタック
〃	委 員	大 塚 明	エヌシーイー(株)
〃	委 員	折 笠 昇	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	田 邊 敏 夫	(株)クリエイティブセンター
〃	委 員	岩 澤 弘 和	(株)構造技研新潟
〃	委 員	吉 田 茂	開発技建(株)
富山地域委員会	委員長	柴 田 聡	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	田 中 義 明	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	竹 腰 直 治	北建コンサル(株)
〃	委 員	吉 田 勉	(株)上智
〃	委 員	泉 英 樹	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	榮 知 之	北陸コンサルタント(株)
石川地域委員会	委員長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	委 員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	二 俣 秀	(株)国土開発センター

総務部会			
	部会長	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
総務委員会	委員長	清 原 宏 二	開発技建(株)
〃	委 員	佐 藤 浩	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	佐 藤 雄 一	(株)構造技研新潟
〃	委 員	泉 英 樹	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	浦 正 光	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	浜 辺 良 彦	相互技術(株)
〃	委 員	今 野 健	エヌシーイー(株)
倫理・法令委員会	委員長	小 見 直 樹	エヌシーイー(株)
〃	委 員	齋 藤 真 晴	開発技建(株)
〃	委 員	初 鹿 明	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	櫻 井 英 二	(株)国土開発センター
〃	委 員	河 原 健 二	(株)日本海コンサルタント

技術部会			
	部会長	渡 邊 雅 樹	開発技建(株)
統括技術委員会	委員長	神 田 和 久	開発技建(株)
〃	委 員	真 嶋 利 寿	エヌシーイー(株)
〃	委 員	大 塚 秀 行	(株)キタック
〃	委 員	西 村 治	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	池 潤 稔	東京コンサルタンツ(株)
〃	委 員	安 藤 正 幸	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	山 森 茂 明	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	高 橋 辰 夫	(株)開発技術コンサルタント
河川・砂防委員会	委員長	須 田 玲	エヌシーイー(株)
〃	委 員	阿左美 敏 和	(株)建設技術研究所
〃	委 員	西 川 幸 成	(株)国土開発センター
〃	委 員	浜 谷 智	五大開発(株)
〃	委 員	太 原 晶	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	伊 藤 信 哉	開発技建(株)
〃	委 員	金 子 幸 生	相互技術(株)
〃	委 員	伊 藤 正 喜	(株)開発技術コンサルタント
道路委員会	委員長	木 村 浩	エヌシーイー(株)
〃	委 員	須 佐 慎	開発技建(株)
〃	委 員	首 藤 直 樹	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	森 将 恒	(株)キタック
〃	委 員	木 下 裕 康	(株)国土開発センター
〃	委 員	古 池 豊	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	藤 本 勇 一	(株)東洋設計

橋梁委員会	委員長	初 鹿 明	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	田 村 康 裕	開発技建(株)
〃	委 員	渡 邊 敦	エヌシーイー(株)
〃	委 員	大 竹 滋	(株)キタック
〃	委 員	南 雲 浩	(株)構造技研新潟
〃	委 員	浦 修 造	(株)国土開発センター
〃	委 員	鷹 西 輝	(株)東洋設計
〃	委 員	寺 田 直 樹	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	塚 嶋 雅 則	東京コンサルタンツ(株)
トンネル委員会	委員長	今 度 充 之	東京コンサルタンツ(株)
〃	委 員	須 貝 浩	エヌシーイー(株)
〃	委 員	麻 田 正 弘	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	松 尾 内 助	(株)キタック
〃	委 員	長谷川 哲 也	サンコーコンサルタント(株)
〃	委 員	辻 本 勝 彦	(株)国土開発センター
都市計画委員会	委員長	岩 渕 和 有	エヌシーイー(株)
〃	委 員	藤 卷 智 之	開発技建(株)
〃	委 員	莊 司 洋 文	(株)キタック
〃	委 員	森 川 大 輔	(株)国土開発センター
〃	委 員	酒 井 信 次	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	埴 正 浩	(株)日本海コンサルタント
建設環境委員会	委員長	竹 内 聡	開発技建(株)
〃	委 員	稲 葉 弘 之	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	若 尾 明 弘	エヌシーイー(株)
〃	委 員	高 橋 靖	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	西 暢 人	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	辰 橋 浩 二	(株)国土開発センター
〃	委 員	藤 卷 英 俊	大原技術(株)
若手技術者ワーキンググループ	リーダー	村 田 亨	開発技建(株)
〃	サブリーダー	中 野 達 也	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	濱 田 康 行	(株)国土開発センター
〃	委 員	一 噌 真佐志	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	石 丸 俊太郎	(株)キタック
〃	委 員	杉 田 友 樹	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	本 間 千 悠	(株)構造技研新潟
〃	委 員	風 間 恵	相互技術(株)
〃	委 員	飯 野 美 樹	エヌシーイー(株)

広 報 部 会			
	部会長	佐々木 大 介	(株)ナルサワコンサルタント
広報委員会	委員長	熊 倉 孝 次	(株)クリエイトセンター
〃	委 員	新 保 和 広	相互技術(株)
〃	委 員	石 塚 英 洋	エヌシーイー(株)
〃	委 員	高 橋 宏 明	開発技建(株)
〃	委 員	飯 田 互	(株)開発技術コンサルタント
〃	委 員	坂 原 徹	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	大 蔵 欣 司	(株)建成コンサルタント
〃	委 員	島 由 治	アルスコンサルタンツ(株)
〃	委 員	新 家 哲 平	(株)国土開発センター
〃	委 員	諏 訪 浩	日本工営(株)
〃	委 員	國 兼 功	八千代エンジニアリング(株)
会誌編集委員会	委員長	須 藤 勝 彦	(株)国土開発センター
〃	委 員	齋 藤 浩 幸	(株)キタック
〃	委 員	長 田 宏 之	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	古 橋 伸 彦	(株)日本海コンサルタント
〃	委 員	藤 井 和 行	(株)構造技研新潟

災 害 対 策 部 会			
	部会長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
新潟現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	大 平 豊	エヌシーイー(株)
〃	技術総括指揮者	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	副責任者	坂 上 松 則	開発技建(株)
富山現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	渡 辺 正 三	大日本コンサルタント(株)
〃	技術総括指揮者	初 鹿 明	大日本コンサルタント(株)
〃	副責任者	林 達 夫	大日本コンサルタント(株)
石川現地対策本部	本部長	寺 本 邦 一	開発技建(株)
〃	副本部長	新 家 久 司	(株)国土開発センター
〃	技術総括指揮者	笹 谷 輝 彦	(株)国土開発センター
〃	副責任者	西 川 幸 成	(株)国土開発センター
災害対策委員会	委員長	高 橋 邦 夫	開発技建(株)
〃	委 員	青 木 和 之	エヌシーイー(株)
〃	委 員	初 鹿 明	大日本コンサルタント(株)
〃	委 員	増 山 繁 雄	北陸コンサルタント(株)
〃	委 員	笹 谷 輝 彦	(株)国土開発センター
〃	委 員	長 森 孝 司	(株)日本海コンサルタント

顧 問			
		藤 卷 俊 二	開発技建(株)

編集後記

2月に国内での感染が確認された新型コロナウイルス。感染はとどまることを知らず、現在は岩手県を除く46都道府県で感染が確認されています。緊急事態宣言は当初、感染者の多い7都府県でしたが、のちに全国47都道府県まで拡大されたことにより、人々は外出の自粛、県外への移動自粛を強いられることになりました。楽しみにしていたゴールデンウィークも故郷への帰省や旅行を自粛することとなり、街や観光地から人々が消え、活気のない寂しいものとなってしまいました。

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、今年予定されていた「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催1年延期や、国内外の様々なイベントの延期、もしくは中止を余儀なくされています。

国内に緊急事態宣言が出されてから、人々の外出自粛や県外への移動自粛の結果、感染は減少方向となってきましたが、まだまだ油断はできません。

新型コロナウイルスという見えない相手との戦いに少々疲れてきましたが、日常を取り戻すため、これからも外出の自粛や手洗いの実施をしていきたいと思います。

藤井和行

発行／一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371

会誌編集委員会

委員長／須藤勝彦

委員／齋藤浩幸 長田宏之 古橋伸彦 藤井和行



発 行

一般社団法人 建設コンサルタント協会 北陸支部
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1 興和ビル7階
TEL 025-282-3370 FAX 025-282-3371
<https://hr-jcca.jp/>